

第二章 一九一〇世紀転換期の世界とイギリス帝国の連鎖 019

1 イギリス帝国の構造 020

2 「アジア間貿易」の形成と移民 023

白人の海外移民と自治領（ドミニオン）／アジア人労働者の移動と自由貿易港

3 日英同盟とインド太平洋世界 034

4 「帝国臣民」としてのインド人移民——南アフリカにおけるガンデイー 037

インド人契約移民労働者と帝国・植民地／南アフリカ・ナタール自治植民地とインド人移民／「イギリス帝国の臣民」——ガンデイーの闘争／ダーバン港騒擾事件——インド人移民の排斥運動／「帝国のシンデレラ」からサティヤーグラハへ

第三章 インド・中国・日本——駒形丸の登場 055

1 中国人・日本人移民の排斥 056

カナダ自治領——「ドミニオン・オブ・カナダ」／中国人の到来／「ホワイト・カナダ」を汚す「三悪」——賭博・アヘン吸煙・売春／大陸横断鉄道建設と中国人移民／人頭税・移民排斥法／日本人移民の到来／バンクーバー暴動／グローバルなカラーライン（人種差別境界線）

2 インド人移民排斥——「連続航路規定」 073

中国人移民の代替として／増えるインド人移民と高まる排斥熱／インド人は「帝国臣民」／一九〇七年晩夏——日本人・インド人の移民制限へ／白いカナダよ永遠に／「連続航路規定」／準備不足での運用——汽船モントイーグル訴訟／「連続航路規定」の改訂と所持金規定／ばなま丸訴訟／あらためての枢密院令／バンクーバー——インド人の反植民地主義のグローバル・ネットワークの結節点／インド人活動家に対する監視の眼——ホプキンソン

3 グルデジット・シンの事業計画と日本帝国 100

日本船「駒形丸」のチャーター／シンと経済事業としての移民輸送／「見切り発車」の香港出港と上海寄港／門司から横浜、そしてバンクーバーへ

## 1 バンクーバーでの屈辱——駒形丸事件 109

### 1 上陸拒否 110

届かぬ情報／ウィリアム・ヘッド検疫所／バンクーバーへ／時間稼ぎの入国審査／政府側との交渉／抗う沿岸委員会／尋問ゴイコット／水と食糧／沿岸委員会による支払い／沿岸委員会の方針転換／政府側の対応——バンクーバー対オタワ／「ハリー」・ステープンス／現地担当官リードのさらなる「暴走」／裁判へ／インド人移民と社会主義者の温度差／日本練習艦隊の寄港

### 2 裁判 132

移民局による尋問／裁判所での審理開始／口頭弁論／うずまく陰謀説／裁定／上告断念／裁定の画期的意義——イギリス帝国体制の変容／人種意識——差別を前提とした

## 移民政策

### 3 強圧と抵抗 149

移民局の対応／入国審査拒否と食糧補給／送還費用の負担をめぐって——タッパーの提案／リードの強硬策——退去通達／インド人移民の不穏な動き／武力行使も辞さず——山本船長への説得工作／警官隊の投入——乗客たちの抵抗

### 4 退去 157

首相ボーデンの決断——イギリスの意向への配慮／沿岸委員会の署名拒否／巡洋艦レインボーと農相バレル／新弁護士マクニール／交渉妥結／別れと苛立ち／出航

### 5 駒形丸退去後のカナダ 170

ホプキンソン殺害／カナダの移民政策への影響

## 駒形丸事件の波紋 175

### 1 寄港地日本での駒形丸——横浜から神戸へ 176

日本政府の姿勢——経済取引への非干渉方針／横浜での駒形丸——武器密輸の可能性／神戸での駒形丸——神戸イギリス総領事館の対応／日本の世論——同情的な地元新

聞：『神戸新聞』と『神戸又新日報』／神戸出航後——シンガポールでの寄港拒否

2 「コルカタの悲劇」——バッジ・バッジ騒乱 191

「運命の日」一九一四年九月二十九日——バッジ・バッジ／インド政庁のバッジ・バッジ騒乱調査委員会／グルディット・シンの回想

3 シンガポールにおけるインド軍歩兵連隊の「反乱」 200

第一次世界大戦とインド軍／ガダル党の反英武装闘争の展開／インド軍歩兵連隊の「反乱」——一九一五年二月のシンガポール／日本の「反乱」鎮圧への協力と日英同盟

4 「駒形丸事件」からアムリトサル虐殺へ 215

アムリトサル虐殺とよみがえる「駒形丸事件」／グルディット・シンのその後——逃亡から服役、国民会議派の活動家へ

## 終章

インド太平洋世界の形成と移民 225

1 港湾都市のネットワークとトランス・ナショナルリズム 226

情報ネットワーク——海底電信ケーブルから無線通信へ／ガダル党をめぐる諜報ネットワーク／カネの国際送金網——香港上海銀行のネットワーク

2 「帝国臣民」の論理・再考 234

「帝国臣民」の論理の利用と植民地ナショナルリズム／帝国の「すきま」で——トランス・ナショナルなヒトの動き／比較帝国植民地史への視座

おわりに 243

あとがき 252

注釈 257

参考文献 263